

別紙2
(市民説明会)

市民説明会において寄せられた主なご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

	実施場所	日時	参加者
1	中央公民館	H29.2.12 日曜・午前	4人
2		H29.2.15 平日・夜間	3人
3	小田公民館	H29.2.16 平日・夜間	8人
4		H29.2.26 日曜・午前	6人
5	大庄公民館	H29.2.18 土曜・午前	11人
6		H29.2.21 平日・夜間	7人

	実施場所	日時	参加者
7	立花公民館	H29.2.12 日曜・昼間	19人
8		H29.2.20 平日・夜間	12人
9	武庫公民館	H29.2.18 土曜・昼間	12人
10		H29.2.22 平日・夜間	8人
11	園田公民館	H29.2.14 平日・夜間	3人
12		H29.2.26 日曜・昼間	7人
合計			100人

No.	主な市民意見	件数	市の考え方
全般関係			
1	市民が、長年使い続けてきた施設を廃止するというのは、利用者が長年持ってきた地域での関わりなどを忘れていないのかと考じる。	1	コミュニティの維持・向上は、まちづくりの観点からも重要なことと捉えています。そのため、施設の見直しにあたっては、可能な限り市民サービスの低下をさせないように機能移転や施設の複合化などにより対応していく考えです。
2	今は検討段階であると思うが、実際の見直しの着手はどうか。	1	今回の説明会は、本市の公共施設を取り巻く非常に厳しい状況に加え、将来世代に過度な負担を強いることなく、公共施設の量、質、運営コストの最適化を目指していく本市の基本的な考え方や取組について、まずは知っていただくことを、大きな目的の1つとしております。
3	利用者の生の声を聞く意味からも、この計画素案で名前の挙がっている施設で市民説明会を行ってはどうか。	1	今回の市民説明会やパブリックコメントのご意見などを踏まえ、今後、検討を重ねていくこととしており、個別の施設についての具体的な見直し手法などの案が整った際は、スケジュールも含め、該当施設での説明会を行うなどして、改めて意見をうかがってまいりたいと考えております。
4	説明会後の今後の流れがわからないので市民は不安に思っている。今後、どうなるかの具体的なものを示さないとイメージが湧かないし、意見を求められても何も答えられない。	4	今回の市民説明会やパブリックコメントのご意見などを踏まえ、今後、検討を重ねていくこととしており、個別の施設についての具体的な見直し手法などの案が整った際は、スケジュールも含め、該当施設での説明会を行うなどして、改めて意見をうかがってまいりたいと考えております。
5	計画素案は10年間の予定ということであるが、具体的な内容はいつ決まるのか。	1	今回の市民説明会やパブリックコメントのご意見などを踏まえ、今後、検討を重ねていくこととしており、個別の施設についての具体的な見直し手法などの案が整った際は、スケジュールも含め、該当施設での説明会を行うなどして、改めて意見をうかがってまいりたいと考えております。
6	現時点では、不確定な要素が多すぎると感じており、この市民説明会だけで終わりにしないでほしいと思う。 現状では計画のイメージが分からないので、今後、計画を具体化していくときには、改めて地域を中心とした市民説明会をして丁寧に対応してほしい。	3	今回の市民説明会やパブリックコメントのご意見などを踏まえ、今後、検討を重ねていくこととしており、個別の施設についての具体的な見直し手法などの案が整った際は、スケジュールも含め、該当施設での説明会を行うなどして、改めて意見をうかがってまいりたいと考えております。
7	35年で30%以上の削減という非常に長い期間での目標であるが、これは、見直したりすることはあるのか。もう少し、緩やかな削減にすることはできないのか。	1	厳しい財政状況や少子高齢化が見込まれる中、将来世代に過度な負担を強いることなく、公共施設の量、質、運営コストの最適化を目指していくために、見直しを進めていくことは必要だと考えています。 しかしながら、35年という長期間に及ぶ計画となりますので、その間に社会情勢等が変化した場合は、必要に応じて修正等は行ってまいります。
8	30%の床面積の削減としているが、計画素案では、建て替えの場合の床面積について、50%を目安としている関係は何なのか。	1	市としては、今後、施設の複合化などを進めていく必要があると考えていますが、複合化が馴染まない施設があることも想定されます。 そのような場合は、60%の施設が建築後30年以上を経過している状況であることを踏まえ、単純に施設を建て替えるのではなく、現在の施設の半分の床面積を検討の目安として、必要面積の精査をていきたいと考えているものです。

9	公共施設の床面積を35年間で30%削減という数値目標は甘くないか。	1	本市の数値目標は全国的に見ても高いものとなっている中、公共施設は市民サービスの拠点でもあることを踏まえ、可能な限りサービス低下をきたさないよう取組を進めていくこととしており、これ以上厳しい数値目標を立てることは難しいと考えています。
10	施設の対策も大事だが、人口減少を止めるための対策を強化する必要があると考えている。 市は子育て世代の転出を防ぐ取組をしっかりと行っていくべきではないか。	3	本市の多くの施設で老朽化が進む中、人口減少や少子高齢化の進展、更には今後も厳しい状況が見込まれる本市の財政状況を踏まえ、将来世代に負担を押し付けないためにも、公共施設の量、質、運営コストの最適化の取組は進めていく必要があります。
11	今回の計画素案では、多くの施設の名前が挙がっており、こうした施設を減らしていくことは町が衰退して、人口減少にもつながることはないのか。 また、人口減少を食い止めるために具体的な取組は何か考えているのか。	1	市としても、こうした状況への対策として、魅力的なまちづくりによる人口定着のための取組の重要性を認識しており、様々な施策を展開しております。 その中でも、重点的に行う施策として、ファミリー世帯の定住・転入を促進する取組があり、特に若年層の子育てという面では、47人の待機児童の解消などとともに、今後も公立として残る保育所の中には、築年数も古く、構造もプレハブ造の施設があることから、順次建替え等の対策を行うなど、保育環境の改善のために、平成29年度は拡充部分のみで8億円近くの予算を計上する中で、子育て世代の支援を行うこととしています。
12	福喜園や千代木園、大庄や武庫体育館をなくすことは、人口減少を食い止めるための策と逆行をしていないか。	1	
13	小学生は児童館がなくなりこどもクラブになったが、中学生の居場所がなくなっている。 尼崎市は学校給食もないため子育てもしにくく、市外に転出していく要因になっていると思われる。子供を大切にしていないという印象を受ける。 施設をなくす前に市としてどういう方向に向かっていくのか明らかにすべきである。	2	
14	市がこのような取組をすることで、コミュニティ機能が失われ、人口減少の要因になると思う。 また、公共施設が多いことは市にとって良いことで、市の魅力だと思う。	1	
15	今回の計画も施設の圧縮や削減の話ばかりであるが、新しい展望など未来の話をすることが必要であり、そういう計画は市にないのか。	1	
16	今ある公共施設を機能移転させて、サービス機能は維持するとのことであるが、移転先が現在よりも遠くなる可能性が高いのではないか。	1	現在の利用者の利便性を可能な限り損なわないよう、機能移転や、集約化を行う場合の検討にあたっては、施設利用者アンケートのデータを活用する等により、どのあたりから現施設にいられているか等の把握を行い、できるだけ近くの公共施設への移転等の対応を考えています。
17	施設を統合・集約化などすると、今より遠くなってしまふようなことがあるのではないか。 特に高齢者や障害者にとっては不便になる。	2	
18	安全性について、昭和56年の建築基準法の改正によって区分しているが、乱暴ではないか。 尼崎市の特徴としては、0メートル地帯が多く、水害の被害が過去多くあった。大きな施設は機械室が地下にあることなども多く、安全性の評価において、水害に関する項目を入れるべきではないか。	2	このたびの施設の方向性を定める施設評価における安全性については、昭和56年の建築基準法の改正により、安全面で課題のある可能性の高い施設を抽出する一般的な基準として用いているものです。 なお、水害につきましては、浸水被害想定が地域間で差があることや、津波等一時避難場所の指定については、公共施設以外にも民間のマンションやビルも含めて対応していることから、施設評価の対象には含めておりません。

19	施設の維持管理については、指定管理者制度はもっと拡大していけばいいのではないかと。女性センターは、指定管理者制度を導入し、費用を抑えながら、利用者も増やしている。	1	公共施設マネジメント基本方針における3つの取組方針のうちの1つが「効率的・効果的な運営」となっており、指定管理者の導入拡大や新電力の活用など、施設の維持管理コストの圧縮などに取り組んでいるところで、今後も拡大に向けて検討してまいります。
20	基本方針において類似都市の比較をしているが、以前は松戸市や市川市などを類似都市として比較していたと思うが、変わった理由は何か。	2	尼崎市は中核市に移行したことに伴い、求められる要件を満たす自治体との比較が適切と考え、見直したものです。
21	仮に施設を建替えても、建った時点から老朽化が始まる。将来の建替えなどに向け、お金を貯めていくことなどはできないのか。	1	施設の見直しなどによって得られた土地の売却収入については、原則として、基金に積み立てることとしています。 しかしながら、建替えや修繕のシミュレーションにおいて必要とされる費用を考えると十分なものはなっていないことから、計画的に床面積の圧縮などに取り組み、長期に渡る経費負担(ライフサイクルコスト)の抑制に取り組んでいくこととしています。
22	他市において、高齢者施設の中に保育所を設置するなどを聞いたことがあるが、お互いに相乗効果もあるようで、尼崎市においても複合化の検討の際は、こういった取組を参考にしたい。	1	これまで本市では、多くの場合、施設利用の対象者を定めて、単一の目的別の施設を整備してまいりました。 しかしながら、今後は、施設の多目的化を図ることによる床面積の圧縮は重要であると考えているところで、今後の検討にあたっては、ご提案の内容も参考にさせていただきます。
23	あぜくら分場や身体障害者福祉会館など築年数を見て、移転などと言っているが、市にはもっと古い施設がたくさんあるのではないかと。	1	先行して取組等を行っている施設や100㎡以下の小規模な施設を除き、すべて評価・見直しの対象としており、特定の施設だけを見直すようなものではありません。
24	施設においては、トイレも重要な問題で、これから施設を整備する際には、障害者や高齢者などいろんな人が使いやすいものにしてほしい。	1	バリアフリーの取組により、施設の質の向上を図ることにも取り組んでいくこととしていますので、今後の取組にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。
25	貸館施設などで民間に代替できるとしているが、実際に民間施設で代替できる場所はないように思う。	2	民間施設への代替につきましては、施設の方向性を定める施設評価の中で、見直しの対象となる施設を抽出するにあたっての評価項目の一つとしたものです。 これは、法的な規制などを踏まえ民間での運営などが可能かということを検討し、評価しているもので、具体的に代替できる民間施設を想定したものではありません。
26	例えば、稲葉荘にある県の住宅を市が受け入れるという話があるが、施設を今後減らしていくのに、他で施設を増やそうとしていることが理解できない。 市がそういうことをやると何もかもが適当にやっている印象を受ける。	1	稲葉荘住宅については、県との建設当初の契約により受け入れるもので、今後、有効に活用していきますが、耐用年数経過後は廃止することとしております。 このように、公共施設マネジメントの取組といたしましては、新たに取得する施設も含め、今後35年間の取組の中で、全体として削減目標の達成を目指してまいります。

高齢者施設関係			
27	千代木園や福喜園を今後、どのようにしているのか。	1	<p>市内に老人福祉センターは5か所ありますが、その中で、旧耐震の福喜園、千代木園については、できるだけ早期に見直しに着手する必要があると考えているところですが、老人福祉センターについては、建物の状況だけでなく、機能や役割については全体的なあり方を検討する必要があると考えています。</p> <p>老人福祉センターについては、介護予防などのソフト事業と部屋を自由に使ってもらい交流などを行う貸館的機能と入浴の大きく3つの機能があると考えています。</p> <p>介護予防の機能については、今後も高齢者が増えることが予測され、その対象者が増えることから、市としても、厳しい財政状況にある中、介護予防に係る事業等に重点を置いた施策を進めていくため、高齢者ふれあいサロン事業の展開などを行っているところであり、その機能を移転することにより、存続していきたいと考えています。</p> <p>しかし、入浴機能については、施設が整備された40年以上前と比べると、各家庭のお風呂の保有状況も変わっていることなどや、貸館的機能については、市内に50を超える貸館機能を有する施設があることや高齢者ふれあいサロンについては高齢者のコミュニティ形成の一助にもなることなどから、見直しをしていきたいと考えています。</p> <p>いずれにいたしましても、老人センターの見直しにあたっては、ご意見をいただいた学校施設の活用や、建物状況を踏まえた見直し着手の時期・順番、簡易な建物による代替など、市民・利用者のご意見を参考にすることで、引続き検討を進めてまいりたいと考えています。</p>
28	これから高齢者が増えてくる中、和楽園などの老人福祉センターは高齢者が喜んで利用している施設である。 これから高齢者が増える中で、高齢者の喜びとなる施設を取り上げないでほしい。	1	
29	福喜園、千代木園について、お風呂と合わせて時間つぶしで施設を利用している。特に福喜園は駅に近く、とても利用しやすい。 これからの若者に負担をかけないためには施設をなくしていくことは一定理解できる。個人的な意見を聞いて、いろんな要求をされても市として出来ないのであれば、市の権限で施設の廃止などをやればよく、そうしないと前に進まないのではないのか。 また、100円ぐらい利用料を取った方がいいのではないのか。	3	
30	千代木園や福喜園といった老人福祉センターについては、高齢者という社会的にも立場の弱い人が利用している施設なので取り上げることはしないしてほしい。	3	
31	老人福祉センターのお風呂が無くなるという話を聞いたが、どうか。 移転先には風呂はないのか。	2	
32	千代木園や福喜園については、機能移転ではなく、敷地の広い小学校のグラウンドの一角などに建替えることなどはできないのか。	4	
33	人口推移では高齢者に大きな変動はないようであるが、老人福祉センターの機能を見直すことにより、高齢者の居場所がなくなり、コミュニティ機能が失われるのではないのか。 このようなことをサポートする施策も必要ではないのか。	2	
34	老人福祉センターにおける入浴機能を廃止する理由は何か。	1	
35	介護予防も大事なことはあるが、高齢者は何かを継続していくことが大事である。お風呂もその1つである。老人福祉センターがなくなれば、高齢者は行くところがなくなってしまう。 高齢者の生きがいをサポートするような事業も考えてほしい。	3	
36	お風呂を利用しているが、足腰が弱く1人で自宅のお風呂に入ることが怖く、不安であり利用をしている。可能なら残してほしい。	1	
37	入浴機能についてはすべての老人福祉センターを一度に見直すのか。 鶴の巣園は比較的新しいので一律に機能を見直すのではなく、暫定措置などは設けられないのか。	3	
38	老人福祉センターの風呂の廃止は、今回の計画の床面積の削減とは異なるものではないか。お風呂を楽しみにしている高齢者は多く、その楽しみを奪うことになる。	1	

39	千代木園を利用しているが、いつ、どこへ移転をするのかという詳しい情報がないことから不安である。 できれば、現在地での建替えを希望する。仮に千代木園と同じく見直しの対象となっている福喜園との間に新しい施設ができたとしても、自転車で行くことができない。	2	
40	老人センターの見直しにあたっては、必要な広さが確保され、空調設備が整っていれば、プレハブのような簡易なものでも構わないので、存続させてほしい。	1	
41	千代木園を利用しているが、施設は古く、今後、施設が残ることは難しいと思うが、どんな形で地域の老人を守ってくれるのが大事であるので、方向性を示してほしい。 また、風呂がなくなれば家にこもる老人が増え、それにより介護にお金がかかる老人が増えることが考えられる。	1	
42	老人福祉センターの機能とふれあいサロンなどの機能は、規模の大きさや役割が違うと思う。また、入浴機能も健康面ではいいことだと思うので残してほしい。	1	
障害者施設関係			
43	身体障害者福祉会館について、障害者団体の活動拠点となっており、他の貸館と違い構造的に障害者に配慮がなされ、使い方などの利便性が良く、使い慣れている。 身体障害者福祉会館は、引きこもりがちな障害者にとって活動の場所であり、情報保障に必要な要約筆記の機材などの保管場所にもなっている。 耐震化して残してほしいが、もし移転となれば今の機能を維持できるようにしてほしい。	1	身体障害者福祉会館は1階に車いすで利用できるホールがあり、建設された当時では先進的なエレベータが設置され、トイレも障害者の方々に配慮されており、身体に障害のある方にとって利便性で優れていることは理解しています。 しかしながら、身体障害者福祉会館は、建設から40年以上が経過した旧耐震基準の老朽化が進行している施設となります。また、エレベーターについても、相当老朽化が進み、いつ壊れても不思議ではない状況にあり、今後も維持していくには多額の経費が必要となるとい問題もあります。 また、仮に耐震化を行ったとしても、施設の寿命が延びるものではなく、今ある課題の根本的な解決にはならないと考えています。 そのため、身体障害者福祉会館の機能を移転することを検討しようとするものです。 厳しい財政状況の中ではありますが、この説明会やパブリックコメントで頂いたご意見を参考にし、引続き、利用者や関係団体など意見交換・相談を行う中で、対策を検討していきたいと考えています。 なお、教育総合センターが旧聖トマス大へ移転したことに伴い、本庁舎が狭隘化している状況などを踏まえ、既存施設の有効活用という観点から教育委員会の教育・障害福祉センターへの移転が完了したばかりであり、必要な規模を確保できるかといった課題はありますが、ご提案の障害者福祉会館の教育・障害福祉センターへの移転対応も合わせて検討してまいりたいと考えています。
44	障害には様々な種類がある中、ガイドヘルパーをお願いできる時間帯もあるため、夜に活動しづらい。そのため、夜に障害者福祉会館を利用することはあまりできなく、利用率が高くないという状況があるかもしれない。 単純に利用者の数や利用率だけで施設の存続を判断するのではなく、そういった状況も理解してほしい。	1	
45	私は身体障害者福祉会館をよく利用しているが、不便な場所にあるものの、使い慣れた施設である。 他の施設に移転とあるが、今の身体障害者福祉会館のように、障害を持つ方々に配慮された機能のある施設はあるのか。	1	
46	身体障害者福祉会館は使い勝手が良く、良い施設であるのに見直し対象となっているが、今後どのようになるのか。	3	
47	身体障害者福祉会館をよく利用しているが、身体障害者福祉会館が効率化の対象となっているのに違和感がある。 建物の性質上、効率化には馴染まないのではないかと。不便な場所にあるという問題はありますが、様々な障害を抱えた方が便利に使っている施設である。	1	

48	<p>身体障害者福祉会館をよく利用するが、集会などを行う場合、参加者のほかガイドヘルパーも入る場合が多く、車いすの方も多いため、集会場は広いスペースが必要である。</p> <p>ホールは1階に設置されており、2階建てではあるがエレベーターも設置され、障害者に配慮された造りとなっていることから、身体障害者福祉会館をできれば長い間使わせていただきたい。</p> <p>一方で、身体障害者福祉会館は西の端にあるので、移転せざるを得ない場合は、市の中心部の交通の便のよい場所にさせていただき、障害者や福祉関係の機能は集約するような形をとっていただきたい。</p>	2
49	<p>施設のバリアフリーという面では、身体障害者福祉会館以外では、教育・障害福祉センターが充実している。</p> <p>現在は、教育総合センターが抜けた後に教育委員会が入っているが、教育委員会に出てもらって、障害者の建物とすることはできないのか。</p> <p>本庁の耐震化工事が終われば、工事のためにスペースをとる必要はなくなり、保健・福祉機能の2所化により福祉事務所のスペースも出てくるのではないのか。</p>	2
50	<p>身体障害者福祉会館においては、建築から40年ほど経つ、2階建てだがエレベーターが設置がされたり、トイレも改修されたり、非常に使いやすい施設である。</p> <p>施設の管理者も身体障害者連盟福祉協会なので身体障害者にとって利用しやすい環境にもなっており、建て替えや移転などの検討はせず、耐震工事を行い、これからも使えるようにしてほしい。</p> <p>万が一、移転となっても、単に移転ということではなく、身体障害者福祉会館にある機能を持っていく検討をしてほしい。その中でも、教育・障害福祉センターは市の真ん中に位置するので使い勝手はいいと思う。</p> <p>そのため、3、4階にいる教育委員会は旧聖トマス大にまだ空きスペースがあると思うので、そちらに移転すれば良いと思う。</p>	1
51	<p>身体障害者福祉会館は、耐震工事を行い、エレベーターを取り替えればいいのではないのか。その方が建て替えよりも費用がかからずに済むと思う。</p>	1
52	<p>身体障害者福祉会館について使い慣れた施設がなくなることは寂しい。</p> <p>もし移転するにしても、聴覚障害者に必要なパトライトの設置や、交通の便が良い場所など、まずは障害者のことを第一に考えてほしい。</p>	1
53	<p>身体障害者福祉会館は不便なところにあるが施設は使いやすい。</p> <p>身体障害者福祉会館の代替場所を考えれば教育・障害者福祉センターが思いつくが、施設はバリアフリーなどの機能が十分ではないので、移転するのであれば使いやすいものにしてくれるのか。</p>	2

54	<p>身体障害者福祉会館が老朽化していることは理解をしているが、今の建物を建設する際に、身体障害者連盟福祉協会が建設費用の一部として、1,000万円を寄付をした経緯がある。</p> <p>そういったことも踏まえ、今の建物を耐震化して使い続けることはできないか。身体障害者福祉会館は、障害者に特化して作られた施設であることから、古くても使い勝手が非常に良い。</p> <p>移転をするのであれば、今と同じ機能、規模の施設としてほしい。</p>	1	
55	<p>身体障害者福祉会館については耐震工事をを行い、今後も利用させてもらいたい。</p> <p>仮に移転することになれば、教育・障害福祉センターにしてほしいが、教育委員会が入っている意味がわからない。</p>	1	
56	<p>あぜくら分場、あいあい分場はどこに移転を検討しているのか。</p>	2	<p>あぜくら分場やあいあい分場については、いずれも旧耐震基準の老朽化が進行している施設であることから、対応を行っていかうとするものですが、本市の厳しい財政状況の中、すべてを建替えていくことは困難であることから、既存の施設を有効活用する手法を優先させたいと考え、計画素案を策定しています。</p> <p>耐震化については、施設の寿命が延びるものではなく、今ある課題の根本的な解決にはならないと考えています。</p> <p>具体的な対策を進めるにあたっては、現在地での建替えという強い要望もありますことから、引続き利用者や運営する団体とも十分に協議を行う中で、対応を検討してまいりたいと考えています。</p> <p>なお、仮に移転先での反対などがあった場合は、市としての説明責任を果たし、理解を得られるよう努める必要があると考えています。</p>
57	<p>あぜくら分場の利用者は、就労と生活介助の2種類のパターンがある。</p> <p>就労では少しでも賃金を出せるよう多くの仕事を受け、その資材を置く場所などに広さがある。</p> <p>また、生活介助の者はじっとしていられないこともあるので、園庭があることで助かっている。</p> <p>移転には反対の立場であり、今の場所で活動を続けたいと考えている。</p>	1	
58	<p>あぜくら分場と地域は、何年もかけて築き上げた関係がある中で、移転することにより地域とのつながりがなくなってしまう。</p> <p>また、環境が変わることによって利用者の負担も考えられる。</p>	2	
59	<p>あぜくら分場について、例えば、耐震補強をすれば長く施設を使うことができるのか。</p>	1	
60	<p>あぜくら分場については、これまで、高田町で築き上げた地域との関係を大切にしたいと考えている。</p> <p>仮にあぜくら分場が移転するような場合、移転先に理解があるかが非常に重要になってくるところであり、仮に反対運動が起こったような場合、市は説明してくれるのか。</p>	1	
公民館関係			
61	<p>立花公民館の見直しの考え方について、詳しく教えていただきたい。</p>	2	<p>立花公民館は昭和47年に建てられており、昭和56年の建築基準法改正以前の旧耐震基準の老朽化が進行している施設となります。</p> <p>また、立花公民館は、用途地域も第1種低層住宅の地区にあり、高さ制限に係る法規制により、仮に建替えを行うとしても、原則として、今と同規模のものは建設できません。</p> <p>そのため、立花公民館で学習活動等をしておられる利用者の方々が継続して活動でき、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能を他の公共施設等へ移転できないか検討を行おうとするものです。</p>
62	<p>立花公民館を建替えができないということを詳しく説明して欲しい。</p>	1	

63	近くに同じようなホール機能がない。50以上の団体が立花公民館で活動をしていると聞いているが、それなのに廃止をするということには疑問を感じる。地域の中心となっている施設のためなくなることは困る。老朽化については、施設の改修などで対応はできないのか。	2	見直しを進めるにあたっては、立花公民館がこれまで地域のコミュニティの核として果たしてきた役割も踏まえる必要があると考えています。 そのため、立花公民館で学習活動等をしておられる利用者の方々が継続して活動でき、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう検討していく考えです。 例えば、貸館機能であれば地域総合センター塚口、また、貸館機能のうちホールについては、県立のピッコロシアターや民間施設であるいかりスーパーの上にあるライクスホールが、利用者の方々の活動が継続できる施設として挙げられるのではないかと考えています。 いずれにしても、引続き市民・利用者の声を丁寧に聞きながら、ご意見をいただきました規模縮小による現地建替えや、施設の複合化なども選択肢とする中で、引続き検討を重ね、具体的な対策をお示しし、改めてご意見を伺ってまいりたいと考えています。 なお、今は、市民・利用者の声を聞きながら、検討を重ねていく段階であり、機能移転となった場合の跡地の活用などについては、現時点では検討していません。
64	立花公民館は利用地域から考えると、代替案として話のあった県立のピッコロシアターや民間のライクスホールは違うと感じる。	6	
65	立花公民館を移転するという話が挙がっているが具体的な移転先はどこか。	1	
66	公民館は地域のつながりである。なくなることによって、地域のコミュニティが切れることになるので、地域の拠点としても規模が小さくなくても良いので現地での建替えをお願いしたい。	2	
67	大きくなくても良いので地域の住民が集える場所が必要である。高齢化も進むので、地域に残すことを考えてほしい。	2	
68	地域学習館も閉鎖されている現状がある中で、本館にあたる立花公民館までもが移転すると、地域のコミュニティが失われるので現地に残してほしい。	2	
69	ピッコロシアターは園田地域ではないか。遠くて不便になる。 また、立花公民館があるこの土地は、戦前は幼稚園で、その後は、地域の集会のために地域で公会堂を持っていたものであるが、市が公民館を作りたいということで市に譲ったという経過を知っているのか。 色々な世代が使える複合施設を作るべきではないか。	1	
70	立花公民館は地域の重要なコミュニティであると考えている。 公共施設は単純になくすというのではなく、しっかりと市民の声を聞いて対応していただきたい。 立花公民館は今の場所にあるべきである。	3	
71	地域の施設については、その地域に住んでいる者にしか分からないこともあるので、立花公民館については、住民の声を聞きながら進めていただきたい。	4	
72	最終的には、立花公民館は更地となって、住宅などになるのか。	1	
体育館関係			
73	武庫体育館は耐震補強工事で十分に対応ができるのではないか。	1	地区体育館については、廃止を前提としたものではなく、まずは、どのような機能を今後も担っていくかなど、地区体育館の利用状況や地区体育館以外のスポーツ施設の状況などを踏まえ、そのあり方を検討していくとしたいと思います。 なお、耐震補強につきましては、建物そのものの長寿命化につながるものではなく、改めて建替え等の検討を行う必要があることから、課題の根本解決にはならないと考えています。
74	体育館は利用者が多いことから、廃止することは問題がある。	2	
75	武庫体育館は利用者も多く、耐震補強をすることで維持する方が財政的負担も少ないのではないか。	1	

図書館関係			
76	北図書館は、旧聖トマス大学に移転をするのか。 北図書館が残るのか、残らないのかよくわからない。 機能としては、残すということなのか。その場合は移転場所のめどはついているのか。	4	北図書館につきましては、旧耐震基準の老朽化が進行している施設であり、また、駐車場のスペースが十分でないなどの課題もある状況となっています。 また、旧聖トマス大学においては、配本所を設置の方向で調整を進めているなどの状況もございます。 こういった状況を踏まえ、北図書館に必要な機能や規模、一定規模の駐車場の確保による利便向上などを検討する中で、現在地の周辺での移転を検討してまいりたいと考えています。 なお、ご意見をいただきましたレンタルショップや書店などが指定管理者となって運営する公立図書館につきましては、他都市の事例などを参考とし、今後の検討の際に、ご意見も踏まえて検討させていただきたいと考えております。
77	佐賀県の図書館のようにレンタルショップや書店が図書館の運営をする可能性はあるのか。	1	なお、ご意見をいただきましたレンタルショップや書店などが指定管理者となって運営する公立図書館につきましては、他都市の事例などを参考とし、今後の検討の際に、ご意見も踏まえて検討させていただきたいと考えております。
その他の施設関係			
78	公共施設の削減は市民サービスの低下である。 特に保育所の民間移管は子育てを尼崎市が放棄するような姿勢ではないかと思われる。 市外から人を呼び込むための町としての魅力がなくなってくるのではないかと。保育・子育て環境の充実が、定住につながると考えるかどうか。	3	本市としては、子育て環境の充実が優先的に取り組まなければならない課題であると認識しております。 保育所の民間移管については、公立だけでなく、多様な主体で保育を担っていくことにより、サービスの維持・充実とともに、財政負担の軽減を図ることも目的としております。 また、待機児童対策としても保育の供給量が特に不足している地域に新たに保育施設等を設置する法人を支援する取組をしていくこととするとともに、公立保育所として存続する保育所については、本計画素案においても、順次建替えなどの対応を行っていくこととしています。
79	公立保育所で次屋保育所がプレハブの建物で40年以上使われていることに驚いており、何とかしてあげてほしい。	1	ご意見をいただきました次屋保育所については存続する保育所であり、プレハブの建物であることから、早期に建替えに取組みたいと考えていますが、建替えのための代替地の確保などの課題があります。
80	保育所については、民間移管をすれば、その保育所分の面積は削減面積となるのか。実際には保育所は存在しているのに削減ということには違和感がある。 また、待機児童の解消もできていないのに、保育所を民間移管していくというのは、問題ではないか。	2	なお、保育所を民間移管した場合、建物の所有権が運営する法人に移るため、公共施設の面積としては削減となります。
81	今後乳児検診などが2カ所の保健福祉センターに集約されて実施となるが、やはり近くで実施する方がよいと考える。	2	平成30年1月に開設を予定している(仮称)保健福祉センターは、これまで窓口が別々となっていたものを南部は出屋敷リベル、北部は塚口さんさんタウンに集約化する予定となっています。 集約化により、保健と福祉について一体的に対応できるようにし、専門性を持った相談支援体制を構築するとともに、乳幼児健診や予防接種などについて、十分なスペースと設備などを整え、これまでの課題であった健診等の環境を改善し、市民サービスの向上を図るものです。 なお、保健・福祉の申請受付業務につきましては、高齢者や障害者等の負担を考え、各地域の窓口を維持することとしています。

82	青少年いこいの家についてであるが、宿泊棟を廃止するということは、建物がなくなり、施設そのものを廃止するということなのか。	1	青少年いこいの家の宿泊棟については、建築から50年近く経っており、特に老朽化が著しく、安全面での課題があるため、廃止を検討していくこととしています。 宿泊棟の建物は廃止しますが、今後は、キャンプなどアウトドアに特化させた機能転換という形で青少年いこいの家は、存続させることを考えています。 機能転換にあたりましては、キャンプ場等の機能として必要なトイレやシャワー、管理棟などの整備については、別途検討していく必要があると考えています。
83	消防局の整備工場であるが、その整備業務を委託し、民間に任せると質が落ちることではないのか。	1	車両の整備については、近隣市でもほとんどの自治体が民間対応を行っています。 外注となると検査や修理の際、直営と比べ、時間がかかるという懸念もあることから、取組を進めるにあたっては、非常用車両の保有数を増やすなどの対応を合わせて検討してまいります。
84	センタープールを処分してしまえば、相当の面積削減になるのではないのか。	1	競艇場については、事業の収益の中から本市会計への繰入を行い、まちづくりへの貢献という役割を果たしていることから、事業に必要な施設を処分するような考えはありません。
85	今回の計画素案の中で競艇場を公共施設として、面積に入れているのはおかしいのではないのか。 かつては競艇場からの繰入金で150億円以上あったと記憶しているが、今は3億円程度まで落ちているのに継続する理由はあるのか。	2	また、競艇場の維持管理経費の縮減は、まちづくりのための繰入金額に影響することからも、「公共施設マネジメント計画」の対象としているところです。
86	旧聖トマス大学に移転を計画している施設が多いようであるが、遠くて不便なように思うがどうか。	3	旧聖トマス大学については「学びと育ちの拠点」と位置付けて活用することから、教育や青少年関係の機能を集約する方向で検討されています。 利便性を考えると、路線バスの停留所があるとともに、各地域においてサテライトとしての事業も実施する予定となっております。
87	旧聖トマス大学と尼崎城は、この計画の算定からは外すべきである。	1	旧聖トマス大の譲り受けにあたっては、公共施設マネジメント基本方針の考え方に沿って、その施設全体を既存ストックとして捉え、建物の耐用年数や老朽度合いを考慮しながら全市的な既存施設・機能の集約・複合化等を考えることとしております。 また、尼崎城については、歴史的な本市のシンボルとしての活用のみならず、観光資源として、都市魅力の向上と交流人口の増加のほか、市民のまちに対する誇りや愛着の醸成につなげていくこととしてしているところです。 両施設は、本市まちづくりに必要な施設として活用するもので、これらの新たに取得する施設も含めて、全体として本市として保有する公共施設の床面積を総量で30%以上削減していきたいと考えています。